

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		商店街（代表者）	・米国の新大統領就任による影響で、幅広く景気が良くなる。
		美容室（経営者）	・春に向けては卒業・入学、婚礼や就職等で外出する機会が多くなるので、店も忙しくなる。
(東海)		商店街（代表者）	・学校が春休みに入り人出も多くなり、売上も伸びる。
		一般小売店〔書店〕 （営業担当）	・年度が替わる時期は、販売量の増加が見込まれる。
		百貨店（経営企画担当）	・株価の水準は、基調としては少しずつ高くなっている。3月からの大型催事の効果や春物商材にも期待が持てる。
		百貨店（販売担当）	・売れ筋は低単価商品だが、徐々に高額商品の動きも良くなっている。購買意欲が落ち込むような要素は、あまり見当たらない。
		スーパー（店員）	・春になって旅行用の菓子や飲料等の受注が見込まれる。
		スーパー（総務担当）	・最近では、毎週実施しているセール企画が客のニーズとマッチしている。
		スーパー（販売担当）	・今後は様々なイベントがあり、売上増加が期待できる。
		スーパー（支店長）	・大河ドラマの影響で地域への集客が増えている。年内は波及効果が期待できる。
		スーパー（ブロック長）	・先行きは不透明であるが、株価が今の水準を維持すれば、主要客層の購買意欲は変化しない。
		コンビニ（エリア担当）	・合併によるブランド変更が進んでいる。変更が完了した店では売上が伸びているところが多く、今後は売上が持ち直すと期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価が、重点商品の米飯商品等を中心に前年同期比で改善していることから、安定的に業況の改善が見込まれる。
		家電量販店（店員）	・売上が上向きとなってきている。
		乗用車販売店（従業員）	・マスコミがあまり報じていないので、今のところ大きな動きはないが、エコカー減税の改正でほとんどの車種が増税となる。それが世間に浸透してくれば、駆け込み需要が爆発的に発生する。
		乗用車販売店（従業員）	・問い合わせが増え、客の動きが少し良くなっている。
		乗用車販売店（経理担当）	・販売した車両の登録が本格化すれば、売上増加が見込める。
		その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・米国の新大統領の影響も落ち着き、政権運営が安定すれば、年度替わりとの相乗効果で消費マインドが好転する。
		その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・季節や年度が替わることで必要な物が増え、購買意欲が高まる。
		その他専門店〔貴金属〕 （営業担当）	・金、プラチナの相場が少しずつ上昇しており、問い合わせも増えている。購入を検討する客が増えており、金の販売増加につながる。
		高級レストラン（役員）	・昼・夜共に予約客が増加傾向にある。コト消費である外食業界にとっては、プレミアムフライデーも追い風となる。
		一般レストラン〔パン・カフェ〕 （経営者）	・出張販売等、店以外での売上は増加が見込まれる。
	一般レストラン（経営者）	・暖かくなり、歓送迎会等で外に出る機会が多くなる。	
	一般レストラン（従業員）	・気候が暖かくなり、外出する人が増える。	
	スナック（経営者）	・同窓会やOB会の予約が入っている。1～2月は客足がぱったり止まって最悪であったので、期待を込めて多少は良くなると見込んでいる。	
	その他飲食〔ワイン輸入〕 （経営企画担当）	・大手企業の業績不振の報道により、消費の冷え込みを懸念したが、それほどでもなく、先行きは株価や賃金の上昇により消費者のマインドも改善する。	
	都市型ホテル（営業担当）	・株価が安定しているため、引き続き良好である。	
	旅行代理店（経営者）	・4月以降の予約が増えている。このまま大きな災害がなく、世界情勢の安定が続けば、段々と消費が増えていく。	
	旅行代理店（経営者）	・2～3か月先には不安材料も特になく、景気は少し良くなる。	
	タクシー運転手	・12月に次いで忙しくなる時期を迎える。	
	通信会社（企画担当）	・例年どおり異動の時期で加入者が増加するとともに、大河ドラマによる地域の盛り上がりも、当社の業況にもそろそろ波及することを期待する。	

通信会社（サービス担当）	・引っ越しを機にインターネット回線やネット回線を利用したテレビサービスへ乗換える客が増え、今よりも業況は良くなる。
ゴルフ場（企画担当）	・暖かくなってゴルフシーズンを迎え、予約数は順調に推移している。数字としては今よりも良くなり、業況もやや良くなる。
その他レジャー施設 〔鉄道会社〕（職員）	・話題性の高い特別列車が相次いで登場しており、当社にも波及効果が表れている。
美容室（経営者）	・新生活に向けてイベント等も増えるので、おしゃれをする人が多くなり、来客数も増加する。
美顔美容室（経営者）	・卒業、入学のシーズンで、客の手入れの回数が増える。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・施設利用者は増加傾向にある。職員の増員等により労働環境も徐々に改善し、余暇を利用して消費拡大にも貢献できる状況になりつつある。
住宅販売会社（従業員）	・年度末の決算期で、客もそれを意識して来場するので、販売数の伸びを期待している。
商店街（代表者）	・株価もあまり変わらず、現状維持が見込まれる。
一般小売店〔結納品〕 （経営者）	・このままでは業況が更に悪くなる可能性もある。少なくとも良くなるとは考えられない。
一般小売店〔電気屋〕 （経営者）	・節約志向が根強いため客単価の改善も難しく、販売方策の模索が続く。
一般小売店〔土産〕 （経営者）	・現在が高止まりの状況であるため、更に良くなるとは考えにくい。
一般小売店〔生花〕 （経営者）	・今しばらくはこのままである。
一般小売店〔薬局〕 （経営者）	・地方の景気は悪いままで浮上の兆しはない。週末は、一部の量販店、スーパーや都市部のデパートには客が集まるが、商店街は閑古鳥である。プレミアムフライデーが定着すると、商店街は一層苦しくなる。
一般小売店〔土産〕 （経営者）	・春に開催される全国菓子大博覧会に期待している。
一般小売店〔酒類〕 （経営者）	・取引先の飲食店では、客の消費の増える材料が乏しい。
一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	・金を使える一部の客は消費を増やしているが、大半の客は、付き合いの範囲を絞って堅実な消費をしている。3か月先も現状と変わらない。
一般小売店〔書店〕 （経営者）	・国政も米国との関係も、今のところ安定しており、景気が良くなる要素も悪くなる要素もない。このまま現状維持である。
一般小売店〔果物〕 （店員）	・3か月ほどでは現状と変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 （企画担当）	・世界情勢があまりにも不透明で、先行きがわからない。
百貨店（売場主任）	・売れ筋商品は決まっていて、売れる商品は在庫切れで補充も難しい一方、売れない商品の在庫は大量に残っている。客に取り寄せを提案しても、在庫を待つ気はなくネットで購入するため、売上につながらない。
百貨店（企画担当）	・高額品の動きが良く免税品の売上も前年同月を上回る等、持ち直しの兆しはあるものの、海外には不安要素が多く、先行きは不透明である。
百貨店（経理担当）	・景気が今よりも下振れする要素も上振れする要素もなく、悪い状況での現状維持と見込まれる。
百貨店（販売促進担当）	・来客数は当面は改善しない。
百貨店（販売担当）	・小さなギフト需要は多いが、菓子やハンカチ等の1品単価が低い商品である。
百貨店（計画担当）	・客の様子からは、購入量や客単価に変化の兆しは感じられない。外商の客は、特に株価の影響を大きく受けるので大幅な株価の変動がない限り現状維持となる。
スーパー（経営者）	・先行きにも改善が期待できる要素が思い浮かばない。
スーパー（経営者）	・3か月先はまだ円安が続き、中国や米国等への輸出はそこそ順調と見込まれる。中小企業の労働者の所得は増えず、消費も伸びないため、景気はまだ上向かない。石油、石炭、鉄鉱石等の値上がり商品価格に影響すると、消費は伸び悩む。
スーパー（店長）	・足元の状況は悪くないが、米国の新大統領の言動による自動車関連業界への影響が懸念される。
スーパー（店員）	・客の買物の様子には多少の変化がみられ、必要な商品はしっかり購入するようになってきている。目に見えて良くなりながらも、少しずつ良い方向に向かっていく。

スーパー（販売促進担当）	・節約や儉約の様子が客にはうかがえ、売りたい商品等には、なかなか反応しない。
スーパー（営業企画）	・しばらくは米国を始めとする世界情勢は不安定で、国内景気も不透明なため、消費にも様子見が続く。
スーパー（販売担当）	・夏に競合店が近隣にできるまでは、売上は前年比で増加が続く。
スーパー（企画・経営担当）	・ひな祭りやホワイトデー等、イベント関係商材の動きによって変わってくる。
コンビニ（店長）	・特に変化しそうな要因はない。
コンビニ（企画担当）	・人手不足が深刻なのは生産性が低い労働集約型の職種が多いため、給料は増えず正規労働者も増えないことが懸念される。
コンビニ（企画担当）	・少し悪いままで横ばいとなりつつある。改善する要因が見当たらないため、当面は今の状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・足元の良い状況は、今後も当面は続く。
コンビニ（エリア担当）	・販売施策や企画に対する客の反応が良くなく、上向きとなる材料が乏しい。
コンビニ（店長）	・特段の好材料はなく、景気としてはほぼ変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・長年なじみ客を相手に商売をしてきたが、低価格商品が出回るなかで新規客を確保できる要素はほとんどなく、厳しい状況が続く。
乗用車販売店（経営者）	・車検や決算に伴って新車に買換える客が多いが、2～3か月後は、車検を迎える車がそれほど多くないため、買換え需要も落ち着く。
乗用車販売店（従業員）	・受注車両の構成比では新型車種の割合が高く、生産待ちの状況が強まっている。3月決算に向けては、すぐに登録可能な車両の割合を高める必要があるが、客の財布のひもはまだまだ固く、有効な販売施策が求められる。
乗用車販売店（従業員）	・2～3か月先も大きな変化要因はない。
乗用車販売店（総務担当）	・販売量は横ばいから緩やかな増加が期待できるが、人手不足感が強まっており、経費の上昇圧力がある。給与アップだけでなく休日増加や設備改善等に伴う経費の増加が心配である。
住関連専門店（営業担当）	・マンションを含む新築需要は減少傾向が続いているが、リフォーム、大規模改修工事や増築工事等については、増加が見込まれる。規模の小さい仕事が増加している。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・文具の売上は好調だが、書籍の売上減少をカバーするほどではない。書籍離れを食い止めようと様々なイベントを行っているが、売上維持は困難で厳しい状況が続く。
一般レストラン（経営者）	・米国、欧州の不安定な政治・経済は、懸念材料である。
一般レストラン（経営者）	・良くなる理由が見当たらない。
観光型ホテル（販売担当）	・4月以降の予約は、宿泊宴会は前年並みであるが、一般宴会は前年同月比で10%以上マイナスとなっている。全社的には、足元と同様にやや悪い状況から変化はない。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から、先行きは横ばいが見込まれる。
都市型ホテル（経営者）	・景気の持ち直しは一服感がある。世界情勢には懸念材料がある。
都市型ホテル（経理担当）	・予約状況から、前年並みに落ち着くものと見込んでいる。
旅行代理店（経営者）	・春になって気候が良くなれば、花の鑑賞ツアーや世界遺産のツアーも増えてくる。初めてのプレミアムフライデーには効果は感じられないが、既存の補助金付プランは売行きが良いので、仕事を早めに切上げて旅行をすれば補助金等があるといったメリットがあれば、効果が出ると思われる。
旅行代理店（従業員）	・北朝鮮問題や米国の新大統領の自国優先政策等、世界情勢への不安により海外旅行者数は伸び悩みが続く。国内旅行も卒業旅行や春休みの旅行には目を引く増加要因はなく、来客数も横ばいである。団体旅行も、国内旅行を中心に例年並みで、特筆すべき点はない。
タクシー運転手	・長い間、夜の飲食店街は静かである。この状態が長く続いており2～3か月先に急に良くなるような兆候もない。もう少し様子見である。
タクシー運転手	・為替の動きにはやや不安があるが、このまま大きな変動はないと見込んでいる。
タクシー運転手	・乗車客数の明白な減少が続いている。

	通信会社（営業担当）	・2年の契約期間が過ぎるころには再び動きが出るが、当面は変わらない。
	テーマパーク（職員）	・団体予約の大きな伸びが期待できない。
	テーマパーク職員（総務担当）	・景気が好転する要因が見当たらない。
	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・米国や中国等の海外情勢にもより、先行きの見通しが立たない。
	設計事務所（経営者）	・良くない状況は全く変わらない。小規模かつ案件数そのものが少なく、設計のみでは生計が立てられない状況である。
	住宅販売会社（従業員）	・大きく変わる要因はなく、横ばいが見込まれる。
	住宅販売会社（従業員）	・景気は底ばいが続いており、3か月先にも住宅建築に対する意欲が高まるような兆しは何もない。
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・見積等の引き合いが多い状況で、引き続き推移している。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・年度が替われれば少しは動きが出てよいが、あまり期待ができない。
	百貨店（販売担当）	・衣料品の長引く不振により、取引先が地方店から撤退する傾向が加速しており、今後も更に業況が厳しくなる。
	スーパー（商品開発担当）	・これまで前年を下回ったことがなかった1品単価が前年割れとなり、来客数も前年同期比で98%と悪く、この先も良くなる要因が見つからない。
	コンビニ（店長）	・動きがあるのは低価格帯の商品が中心で、少しでも高い商品は動きが鈍く、節約志向が今後も続く。
	コンビニ（商品開発担当）	・購入商品はほとんどセール品に限られている。より一層の安値を求める傾向は数か月前から変わらないため、この先も急に変わるとは思えない。
	家電量販店（店員）	・今後の景気に影響を及ぼすような消費喚起策がない限り、回復は難しい。
	乗用車販売店（経営者）	・商売を取り巻く環境は、ますます厳しい方向へと進む。
	乗用車販売店（経営者）	・足元の好調な動きは3月前半までで、4月以降は停滞する。
	乗用車販売店（従業員）	・新車投入効果もなく、販売台数は年々減少している。今後も一層厳しくなる。
	乗用車販売店（従業員）	・大手電機メーカーの経営問題が非常に懸念される。あれほどの大企業がここまで厳しい状況になると、景気はどんどん悪くなっていくのではと案じられる。
	乗用車販売店（販売担当）	・取扱車種は減税・免税対象が多いが、3月からは増税となるため、販売量が少し落ち込む。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・消費者には、様子見のムードが続く。
	観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先は、宿泊・昼食・夕食、婚礼のいずれも、足元より悪くなりそうである。景気浮上策や減税等を打ち出さないと、景気回復も息切れしそうである。
	旅行代理店（経営者）	・暖かくなってくると多少は変わるかもしれないが、現段階では、やや悪くなるような見通しである。
	旅行代理店（経営者）	・当地域は輸出型企業が多く、円高でやや悪くなる。米国の新大統領の言動に大きく左右される傾向にあるが、実態的確な把握が求められる。労働者不足と高齢化で徐々に衰退していく我が国の経済構造を、大きく変える必要がある。
	通信会社（営業担当）	・年度末を過ぎて、やや減少傾向となる。
	観光名所（案内係）	・ライフラインの料金改訂やその他の物価上昇の影響が出てくるため、先行きにもとても期待はできない。
	パチンコ店（経営者）	・業界全体が低単価志向のため薄利となり、新規機種を投入する業者も少なくなっている。
	理美容室（経営者）	・客との話では、景気は良くなく、給与も賞与もあまり上がらないということで、段々景気は悪くなっていく。
	美容室（経営者）	・地域の人口が減少している。大きな企業が少なく、景気もやや悪くなる。
	設計事務所（職員）	・景気の良い話は全く聞かない。国会の議論でも景気に関する話はあまりなく、当分はこのような状況が続く。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・公共案件も民間案件も工事単価が上がらず、利益率の低い仕事が増えている。今後もあまり改善が期待できず、このままの状況が続く。
×	商店街（代表者）	・ネット販売の価格が基準になると、地域家電専門店では価格に対応できず、客の減少に歯止めがかからない。
×	衣料品専門店（販売企画担当）	・衣料品への支出は後回しにされるため、今の景気では、消費者は衣料品の購入を控える。

	×	衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・アパレル業界の状況として客足の回復が見込めないなかで、4月にはターミナル駅周辺に新たな商業施設がオープンし、エリア外への客の流出が一層進む。
	×	都市型ホテル（支配人）	・ターミナル駅周辺ではホテルの新規オープンが相次ぎ、需給バランスが大幅に悪化する。
	×	理容室（経営者）	・客との会話でも、景気の良い話は全く出ない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・不動産全般で動きが悪くなっている。
企業 動向 関連  (東海)		輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・今後も仕事が多く入る見込みである。
		食料品製造業（営業担当）	・暖かくなるにつれて販売量は増加するが、消費者の節約志向は根強く、販売量の動きは予断を許さない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新規の引き合いが増えており、今後の受注増加が見込める。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2か月後に新製品を出すため、ある程度の伸びが期待ができる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・米国の新大統領の経済対策に左右されるが、過度な保護主義政策がなければ急激な落ち込みはなく、当面はやや上向きに推移する。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産量の増加と新機種の上り立ちによって、多忙となる。
		輸送業（経営者）	・中国との貿易が景気に与える影響は大きく、中国での建機需要の回復等から、今後も、中国市場と関連する産業では拡大が期待できる。
		通信会社（法人営業担当）	・日米首脳会談を受けて、経済界には慎重な見方と楽観的な見方が両方あるが、自動車業界では、慎重に米国市場での売上確保策を探る経営方針が、現場社員にも浸透している。
		通信会社（法人営業担当）	・社会の裾野にまで回復の動きは広がっているが、一般市民の財布のひもは、まだ固い。
		金融業（従業員）	・建築関係を中心に、比較的先までの受注を確保しており、少し長いスパンでも上向きとなる。
		金融業（法人営業担当）	・取引先の自動車部品メーカーでは、この先3か月の受注が堅調な見通しとなっている。
		行政書士	・年度替わりで繁忙感が出てくる。引っ越しを扱う輸送業者は、売上がこの時期に集中するので、受注競争となっている。
		会計事務所（社会保険労務士）	・昇給の時期となるが、多くの客先では昇給を実施すると聞いており、景気も良くなることが期待できる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・客は多数の案件を抱えて要員確保が困難となっているため、外部委託が当面は続く。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・世界的には厳しいが我が国の経済は十分に乗り切る力があると考え。低金利の状況がいつまで続くのか読めず、銀行業界にとっては厳しい時代となるかもしれない。
		食料品製造業（経営企画担当）	・先行き不透明な状況が続き、消費マインドの回復には力強さがみられない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・例年、春先は足元よりは良くなる時期だが、取引先から良い話が聞かれず、景気は現状のままと見込む。
		化学工業（総務秘書）	・売手市場の求人状況や、新しい期のスタートで、春に向けて景気が悪くなるようには感じられない。
		金属製品製造業（従業員）	・材料費の値上がり傾向は変わらず、仕事の入り具合や価格転嫁ができるかどうかで状況が変わる。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・円安傾向で価格競争力はあるが、自動車向けの設備投資はメキシコ方面が多く、見通しが立たない案件も多数ある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量並びに受注見込み量が、堅調に推移している。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・現状よりも大幅に良くなったり悪くなるような要因はなく、このままで推移する。
		建設業（経営者）	・大手自動車メーカーのおひざ元で、米国の新大統領の影響が気になるが、現時点では大きな変化はない。米国次第で、地域の景気も大きく揺れ動く懸念がある。
		輸送業（従業員）	・原油価格が上昇しており、景気への影響が懸念される。
	輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格は、前年比でやや上昇する気配があり、先行きには懸念がある。	
	輸送業（エリア担当）	・景気の動きが見通しづらい。	
	輸送業（エリア担当）	・重量単価は前年比で下落し続けている。受注量は前年比で増加しているため、売上は変わらないが収益性は悪くなっている。この状況がしばらくは続く見込みである。	
	金融業（企画担当）	・個人投資家の資産効果は引き続きあるが、一般市民の給料が増えないと消費へ向かう金も増えないため、当面は現状のままの景気が続く。	
	不動産業（用地仕入）	・景気を左右する要因が見当たらない。	

	広告代理店（制作担当）	・提案中の電波媒体等の企画案件で、少数ではあるが具体化しそうな案件がある。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞購読者数の動きも折込広告の受注も、落ち着いている。	
	公認会計士	・円安による輸出拡大に伴って中小企業の生産量も増加傾向にはあるが、取引先の大手企業への納入価格は横ばいか、むしろ引下げを求められている。電力料金の高騰や人材の採用難等もあって収益性は低下が続き、この状況は改善していない。	
	会計事務所（職員）	・地域活性化の動きは乏しく、大きなイベントもない。	
	印刷業（営業担当）	・景気が良くなるような材料がない。収入が増えなければ、消費も増えない。景気はまだまだ良くならない。	
	化学工業（営業）	・ナフサの価格上昇で、原料価格の値上がりが見込まれる。	
	化学工業（人事担当）	・我が国の景気は決して悪い水準ではないが、外部要因の影響を受けやすい。短期的には米国の新大統領への不安感により、やや悪くなる方向となる。	
	鉄鋼業（経営者）	・前年末以来、見積依頼の件数、金額共に緩やかに減少している。例年であれば、年度末に向けて火急の見積依頼が増える時期であるが、逆の動きとなっている。	
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが低調である。	
	輸送業（エリア担当）	・配送単価が上がらない一方で、人件費は高騰しコスト増加が見込まれる。	
	不動産業（経営者）	・年度末が近づき、サービス業向けの賃貸物件は借換えや売買が活発化するものの、資金繰りの悪化で契約に至らないケースがある。	
	x	-	
雇用 関連  (東海)	人材派遣会社（支店長）	・長期派遣稼働者数は前年比で約10%増加しており、現状の好調な受注数と合わせ見ると、今後も景況感は良くなる。	
	人材派遣会社（社員）	・4月までは、人材の動きが活発化し業界としては繁忙期となる。	
	人材派遣会社（社員）	・2月が悪かったのでこの先は良くなる。予約状況も例年並みに回復している。	
	人材派遣会社（営業担当）	・当面は人手不足が続き、転職活動も盛んになる。正社員、契約社員や派遣等の雇用形態にかかわらず、求人も増える。	
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車の生産現場においては、4月以降も、国内販売、海外輸出共に上向きである。	
	人材派遣会社（経営企画）	・先行きも特に変動材料はない。	
	人材派遣会社（営業担当）	・米国の新大統領の影響により、景気の先行きは非常に不透明である。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・採用難で人件費が膨らみ、次の対策が打てない状況が続いている。地域の企業は給与面でも厳しく、個人消費の拡大につながらない。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・プレミアムフライデーの浸透には時間がかかると思われるが、早く仕事を終えて趣味や飲食への消費に向かうようになれば、景気も変わってくる。	
	職業安定所（所長）	・良好な材料が新たには見当たらず、今と変わらない状況が続く。	
	職業安定所（職員）	・正社員の求人が増加しており、良好な基調に変化はない。	
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は5か月連続で前年同月を上回っており、人手不足の声も、建設、介護、サービス業や中小企業では特に多く聞かれるが、今後の米国の新大統領に対する不安の声は、前月よりも更に多く耳にする。	
	職業安定所（職員）	・求職者数の変動はほとんどなく、若干の減少である。	
	民間職業紹介機関（営業担当）	・年度末に向けて引き続き採用は活性となるが、企業の人事担当者は新卒採用に忙しくなり、中途採用に時間を割くことが難しくなる。	
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・年度末に向けて一時的に動きが増える時期となるため、景気の大きな変動や上昇の見込みがあるか、見極めにくい。	
	民間職業紹介機関（支社長）	・特段の特徴的な動きは表れていない。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・解禁前の企業説明会等には大手企業の出展が多いが、前年に比べて一層の底上げといえるほどの動きは感じない。	
	人材派遣会社（社員）	・引き続き正社員採用のニーズは高いが、マッチする人材が不足している。採用が停滞する企業が増加しており、生産性の低下が懸念される。	
	x	-	-